

事務事業名	児童手当給付事務 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5132					
			所属課室	子育て支援課		課長名	藤巻喜代子					
			所属担当	児童		担当者名	細田一樹					
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政 策		17	社会福祉の充実		事業区分	☒ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業					
施策		28	児童福祉の充実			☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業					
						☐ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業					
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	南アルプス市児童手当事務取扱規則								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 児童手当給付事務に関わる事務（通知発送、封筒印刷、支払処理）を行う。 22年度から23年度は子ども手当に変更されたため、予算執行は無かったが、24年度から新たに児童手当制度が施行されることとなり、本市では予算の関係上24年10月から実施することとなった。					事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込） 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 臨時職員賃金 706 計 706						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	H24年度から児童手当制度が新たに始まる。 制度の周知、データの移行、システムの変更など
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
中学校までの児童とその保護者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
家庭における経済的負担が軽減し生活も安定する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
対象家庭の経済的負担が軽減され、安心して子育てができる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 現況届発送件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 現況届発送件数	件	イ:		ウ:	
名称	単位								
ア: 現況届発送件数	件								
イ:									
ウ:									
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 中学校までの児童数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 中学校までの児童数	人	イ:		ウ:	
名称	単位								
ア: 中学校までの児童数	人								
イ:									
ウ:									
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 現況届提出件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 現況届提出件数	件	イ:		ウ:	
名称	単位								
ア: 現況届提出件数	件								
イ:									
ウ:									
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 安心して子育てができると答えた市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 安心して子育てができると答えた市民の割合	%	イ:		ウ:	
名称	単位								
ア: 安心して子育てができると答えた市民の割合	%								
イ:									
ウ:									

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円		706	710					
	人件費	事業費計 (A)		千円	0	706	710	0	0	0	0	
		正規職員従事人数		人		1						
		延べ業務時間		時間		1,750						
		人件費計 (B)		千円	0	6,934	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)		千円	0	7,640	710	0	0	0	0	
	活動指標		アイウ	件		6,018.0						
	対象指標		アイウ	人		10,984.0	10,675.0					
	成果指標		アイウ	件		5,977.0						
	上位成果指標		アイ	%		99.3						
			アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	児童手当法は、S46年に児童を養育している家庭に対して、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上を目的に制定された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	近年の少子化に伴い児童手当の制度は何度が改正されている。22年度には子ども手当に変更されたが、24年度からは新たに児童手当制度が施行された。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	「所得制限があって手当がもらえない」という人。現況届をうっかり忘れた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	国で定める制度のため、改革改善は行っていない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	児童手当給付事務	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 中学校修了前の児童を養育している保護者等に対して手当を支給して、子どものいる家庭の経済的負担の軽減し、子どもの健やかな育ちを応援する目的の手当なので児童福祉の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 国の法令で定められ、給付事務を各自自治体が行うことになっているので妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 暫定的な子ども手当制度を見直し、恒久的な制度として児童手当制度が開始されたため、維持・継続される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 通常業務の残務処理的な事業のため、成果向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 国の制度であるため、制度違反になる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 国の制度のため、休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務量を考慮し、臨時職員の賃金を子ども医療費に移すため、事業費は削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 担当職員1名で対応しているので、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 国の制度に基づき事務事業を実施しているので公平・公正であり、受益者負担を徴収する必要はない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	この事業については、平成23年度終了以後廃止する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①事務量の見直し		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑩																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①																								
②																								
③																								